

# 仕事も子育ても楽しむ極意

父親であることを楽しもう！ 安藤哲也さん（NPO法人ファザーリング・ジャパン代表）

自らの経験をもとに男性の子育てを応援するNPO法人ファザーリング・ジャパンを立ち上げた安藤哲也さん。いま注目される「イクメン」を、7月4日に開催された安藤さんの講座から探ってみました。

## 今、注目を浴びるイクメンとは？

イクメンとは単に「育児をする男性」をいうわけではありません。イクメンとは「育児を楽しむ男性」のこと。さらに付け加えると「育児を楽しめるカッコいい男性」です。つまり、育児を手伝うのではなく主体的にかかわり楽しむ、それがカッコいいイクメンの条件で



す。父親は世の中の情報を持っているのですから、それを子どもにも与えて自立を促していかなければなりません。それは、育児に主体的にかかわってこそ、可能となるのです。

そしてイクメンで一番大事なのが「パートナーへの愛と心づかい」です。これがなければ本物のイクメンとは言えません。さらに、子どもが育つ環境、地域や社会のあり方にも高い意識が必要です。イクメンとは子どもを育てる力だけでなく、「社会を育てる力」を持っていることなのです。

## なぜ、イクメンに注目が集まるのか？

一つには社会構造、経済状況の変化に伴い、子どもを産み育てることが難しくなっているためです。男性一人の収入では家族を養うのが難しくなってきたのに長時間労働で男性は育児ができず、また共働きをするにも保育園の数も足りません。核家族が進んだいま、専業主婦世帯でも共働き世帯でも、育児の大半は母親一人が担っているのが現状です。そこで期待されているのが積極的に育児をするイクメンで、それを可

能にするのが男性の働き方の見直しです。

ぼくは子育てを経験して、なんでもなんに楽しいことをママに独占させておくのかと思いました。パパだって育児を楽しむ権利がある！ファザーリング・ジャパンを立ち上げたのはそんな思いからです。

ぼくは今、フルタイムで働く妻をサポートしながら、より子育てを楽しむために職住接近で午前10時から午後4時まで働いています。PTA会長、保育園や学童の父母会長などを引き受け、地域での暮らしを楽しんでいます。育児は自分育てにもなるので、世の中の父親にもぜひ経験をしてほしいと思います。

### 安藤 哲也 さん

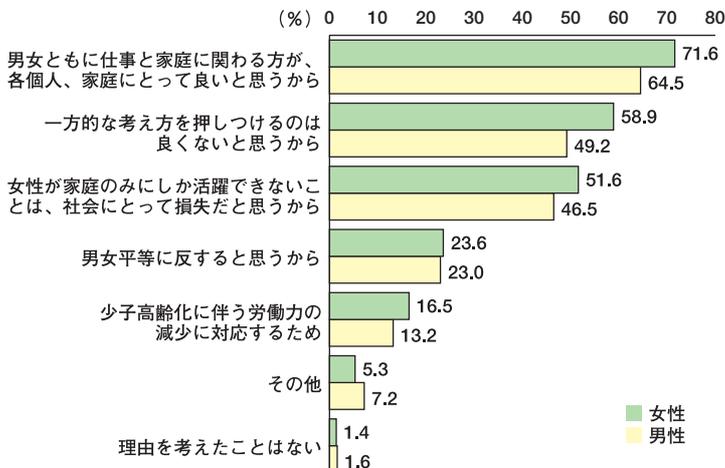
出版業、IT企業などを経て06年に父親の育児支援を行うNPOを設立。「パパ検定」の仕掛け人。保育園・学童の父母会長、小学校のPTA会長を務める。著書「仕事も育児も楽しむ生き方」等がある。



## 男女とも仕事と家庭にかかわるほうがよい

固定的な男女の役割分担を否定する人にその理由を聞いてみると、男性では「男女とも仕事と家庭にかかわる方が各個人、家庭にとっても良いと思うから」が上位にあげられています。

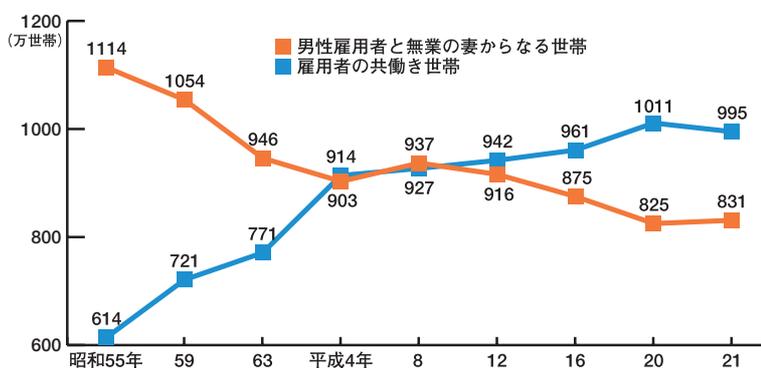
### ◆ 固定的性別役割分担意識に反対の理由



## 共働き家庭が増えている

昭和55年には「雇用者男性と無業の妻からなる世帯」が「共働き世帯」の倍近くありました。その後、「共働き世帯」は年々増加し、平成21年では995万世帯となり、「男性雇用者と無業の妻世帯」の831万世帯を大きく上回っています。

### ◆ 共働き家庭の推移



資料：昭和55年から平成13年は総務省「労働力調査特別調査」（各年2月、昭和55年は3月）平成14年以降は「労働力調査（詳細集計）」（年平均）を参考に作成